

伊豆縦貫自動車道だより

伊豆縦貫道都市計画原案説明会（追加説明会） 開催状況のご紹介（H24.10.5～H24.11.14 開催分）

H24.10.5 西本郷地区（本郷公民館）



来場者 20 人

H24.10.19 立野地区（第 2 回）（稲生沢公民館）



来場者 60 人

H24.10.25（仮）蓮台寺 IC 周辺住民・関係者（河内公会堂）



来場者 20 人

H24.10.25 箕作・相玉地区（第 2 回）（基幹集落センター）



来場者 30 人

H24.11.14 箕作・相玉地区（第 3 回）（基幹集落センター）



来場者 25 人

追加説明会での「期待の声」 「心配の声」のご紹介

予定された全 11 会場の他に、追加説明会を 5 会場（総来場者 155 名）で開催しました。前回の詳細説明会で「充分にご理解を得られなかった事項」・「持ち帰り検討事項」を中心に説明させていただきました。

<文教地区通過・環境への不安の声：立野地区>

- 文教地区通過がとても心配である、教育関係者と話をしたのか？
- 高架道路で景観が悪くなる。

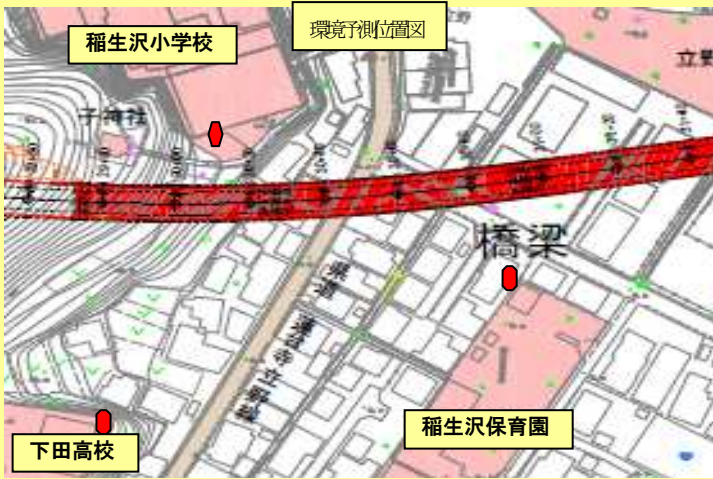
<ルート変更への意見要望の声：立野地区>

- 住宅地を避けた山間地ルートへの変更を望む。
- 当初整備目的の 1 つであった「中島橋交差点渋滞解消」だが、最近では渋滞していない。伊豆縦貫道は、箕作までで良いのではないのか？
- A ルート帯の決定経緯が不明確である。地区住民アンケートを行ったと言う事だが、いつ行ったのか？住民の意見を反映する内容であったのか？

<地震・津波防災への期待の声：箕作・相玉地区、西本郷地区>

- 東日本大震災のような災害が起きた場合、海岸線（R135 号）は大被害で通る事は出来ない。頼りになるのは伊豆縦貫道だけである。道路が無ければ、あの災害以上に悲惨な結果になる
- 防災避難路の観点から、伊豆縦貫道整備に合わせて、西本郷の小山田から広域避難地の敷根公園や下田中学校に通じる道の整備をお願いしたい。

伊豆縦貫道整備後の環境影響予測値について(立野地区の例)



事業を計画するにあたり、騒音・大気質・振動などの環境調査(予測)を実施しております。中でも学校に対する騒音については、一般の環境基準よりも厳しい「学校環境衛生基準」があります。現時点の予測では、学校基準で騒音値が若干上回る場所がありますが、道路建設においては、工事实施前の最新予測に基づいて必要な対策(遮音壁の設置、低音舗装等)を施し、環境基準を遵守いたします。その他、文教地区における周辺環境対策については、関係自治体や地元地域、学校関係者と調整を図りながら事業の進捗に合わせ進めていきます。

伊豆縦貫道の影響による環境予測結果 (H42年推計交通量 11,700台/日)

◎下田市立稲生沢小学校

- ・浮遊粉じん (SPM) : 0.041mg/m³ (予測値) < 0.10mg/m³ (基準値)
- ・二酸化窒素 (NO₂) : 0.015ppm (予測値) < 0.06 ppm (基準値)
- ・騒音 : 57dB (予測値) > 55 dB (学校基準値 (窓を開けている時))
< 65 dB (一般基準 (屋外))



◎稲生沢保育園付近

- ・浮遊粉じん (SPM) : 0.041mg/m³ (予測値) < 0.10mg/m³ (基準値)
- ・二酸化窒素 (NO₂) : 0.015ppm (予測値) < 0.06 ppm (基準値)
- ・騒音 : 57dB (予測値) > 55 dB (学校基準値 (窓を開けている時))
< 65 dB (一般基準 (屋外))

※基準を超える場合は、対策を施します。

◎静岡県立下田高校

- ・浮遊粉じん (SPM) : 0.041mg/m³ (予測値) < 0.10mg/m³ (基準値)
- ・二酸化窒素 (NO₂) : 0.015ppm (予測値) < 0.06 ppm (基準値)
- ・騒音 : 55dB (予測値) = 55 dB (学校基準値 (窓を開けている時))
< 65 dB (一般基準 (屋外))



※騒音レベル (一般基準 (屋外)) : 道路から 15mまで昼 70dB、50mまで昼 65dB、50m以遠昼 55dB
(学校環境衛生基準) : 教室内の等価騒音レベルは、窓を開けている時、55dB 以下、窓を閉じているときは 50dB 以下である事が望ましい。

伊豆縦貫道と下田のまちづくり 「トークテラス」を開設します

～皆様の伊豆縦貫道に対する「期待・不安」聞かせて下さい～

「トークテラス」とは?

スーパーマーケットやホームセンターなど人が集まる場所でパネル・CG・パンフレット等を展示し、立ち寄っていただいた市民の皆様方に情報提供するとともに、計画に関してのご意見・ご質問を聞かせていただき、担当職員がお答えする取り組みです。大勢の人が集まる説明会の中では質問できなかった事、疑問に思う事、期待や心配の声をこの機会にぜひ聞かせて下さい。



伊豆縦貫道の計画をご理解いただくため、これからも皆様と対話を続けてまいります。